

議会だより

2018

平成30年2月1日発行

No.26

～クリスマス会～

四条こども園



Contents

平成29年度一般会計補正予算を可決

② 第2回臨時会／12月定例会

⑦ 委員会報告

⑩ いっぺん来てつか 議会報告会

⑫ 議会研修報告

⑬ 11人が町の考えを問う 一般質問

⑳ 議会からこんには

あなたの“結婚したい”を応援したい

平成29年12月定例会

開催期間 12月5日～15日(11日間)

一般会計補正予算(案)(第4号)、議員発議の意見書
など12議案の審議を行い原案通り可決した。

主な補正は、琴南、四条こども園の改修工事費1億
8百万円、台風被害を受けた道路や農業用施設の復旧
事業費1千6百万円など。

平成29年第2回臨時会

開催日 11月9日

専決処分の承認(一般会計補正予算第2号)と
工事請負契約の締結2件と一般会計補正予算(案)
(第3号)の審議を行い原案通り可決した。

平成29年度12月補正予算(概算)

会計名	補正額	予算総額
一般会計	2億3400万円	115億3670万円
特別会計	1億4500万円	59億8500万円

平成29年度12月補正の主な内容(一般会計) 概算

事業名	目的別名	予算額
民生費	こども園改修(琴南、四条)	1億800万円
災害復旧費	台風被害の復旧事業費	1600万円

平成29年度12月補正の主な内容(特別会計) 概算

事業名	目的別名	予算額
介護特別会計	給付費	1億4100万円

平成29年度第2回臨時会、12月定例会議案内容

平成29年第2回臨時会（会期:平成29年11月9日）	
議案第1号	専決処分の承認 (一般会計補正予算第2号)
議案第2号	工事請負契約の締結 (町ものづくりセンター改修工事)
議案第3号	工事請負契約の締結 (四条小学校校舎等大規模改修工事)
議案第4号	一般会計補正予算(案)(第3号)
平成29年12月定例会（会期:平成29年12月5日～15日）	
議案第1号	町中小企業等振興基本条例の制定
議案第2号	町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の 定数に関する条例の制定
議案第3号	物品購入契約の締結 (ものづくりセンターひまわり搾取フルプラント整備事業)
議案第4号	物品購入契約の締結 (歯科用診察ユニット及びデジタルレントゲン装置整備事業)
議案第5号	一般会計補正予算(案)(第4号)
議案第6号	国民健康保険特別会計補正予算(案)(第2号)
議案第7号	介護保険特別会計補正予算(案)(第2号)
議案第8号	農業集落排水特別会計補正予算(案)(第1号)
議案第9号	浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(案)(第1号)
議案第10号	まんのう町職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第11号	まんのう町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の 一部改正について
議案第12号	まんのう町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の 一部改正について
発議第1号	道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書(案)



ものづくりセンター

議案の採決結果

賛否の分かれた議案に対して、各議員の議決の結果は下記の通りです。

議案名等	議席番号		議決結果	田岡 秀俊	竹林 昌秀	川西米希子	合田 正夫	三好 郁雄	白川 正樹	欠 員	白川 年男	白川 皆男	大西 樹	藤田 昌大	松下 一美	三好 勝利	大西 豊	川原 茂行	欠 員	関連ページ	
	賛成	反対																			
平成 29 年 12 月 定 例 議 会 (会期：平成 29 年 12 月 5 日～ 15 日)																					
議案第4号 物品購入契約の締結	12	2	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	P04

※可-可決 否-否決 ○賛成 x-反対 欠-欠席
 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。(議長 議席番号15番)

●平成29年

第2回臨時会

即決案件

議案第1号

専決処分の承認

衆議院選挙費用金1千6百63万円

原案承認

議案第2号

工事請負契約の締結

ものづくりセンター改修工事

【契約者】まんのう経常建設共同企業体

【契約金額】金5千80万円

原案可決

議案第3号

四条小学校校舎等大規模改修工事(変更増金額)

【契約者】まんのう経常建設共同企業体

【契約金額】金3百11万1千円

原案可決

議案第4号

一般会計補正予算(案)(第4号)

災害復旧費金1億1千7百61万円1千円

原案可決



山脇木原線の災害調査(仲南地区)

●平成29年

12月定例会

即決案件

議案第3号

物品購入契約の締結

ものづくりセンター資材購入費

【契約者】ハンダー油機株式会社

【契約金額】金2千4百40万円

原案可決

議案第4号

物品購入契約の締結

歯科用診察ユニット及びレントゲン装置

【契約者】株式会社 玉井歯科商店

【契約金額】金1千6百18万1千円

●討論

反対

【竹林昌秀議員】 執行部の説明不足で賛否の判断が出来ない。

賛成

【藤田昌夫議員】 本案件はきわめて高度な専門案件であり、提案者である委託医師の判断である。

反対

【白川年男議員】 委員会に付託すべき案件と思う。

賛成

【大西樹議員】 購入品は専門知識を必要とする特殊な装置であり、支所長と歯科医師が十分協議し決定したものである。

反対

【大西豊議員】 議会運営委員会で本会議に資料を提出するとの約束が守られていない。

賛成

【川西米希子議員】 執行部の説明は

納得できる。経験豊かな、当該診療所の歯科医師が診療所に最もふさわしいと熟慮のうえ選んだものである。

原案可決

議案第10号

まんのう町職員の給与に関する条例の一部改正について

議案第11号

まんのう町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

議案第12号

まんのう町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

人事院勧告及び香川県人事委員会勧告に基づく給料表及び諸手当を改定。

付託案件

12月8日、11日、12日の3日間にわたり執行部に必要な書類と詳細な説明を求め、慎重に審査を行った。

総務常任委員会付託

議案第1号

中小企業等振興基本条例の制定

中小及び小規模企業の振興の理念・方向性を定めた。

● **主な質疑と答弁**

【委員】 施策を実施するための職員の配置はできるのか。

【執行部】 職員数に限りはあるが、この条例の趣旨に基づいて、実現するよう努力する。

原案可決

議案第5号

一般会計補正予算(案)(第4号)

琴南・四条こども園改修工事費、災害復旧費など増額補正。

● **主な質疑と答弁**

【委員】 災害復旧費が増額となっているが、先般の台風の被災による工事費の査定は終わっているのか。

【執行部】 台風18号については、査定は終わっており11月補正で対応している。今回はそれ以降の台風で、

21号22号の災害部分を順次進めている。

原案可決



耐震改修予定の四条こども園

教育民生常任委員会付託

議案第6号

国民健康保険特別会計補正予算(案)(第2号)

人件費など増額補正。

原案可決

議案第7号

介護保険特別会計補正予算(案)(第2号)

給付費など増額補正。

● **主な質疑と答弁**

【委員】 地域密着型介護サービス給付費負担金の補正額が大きいのが、最初の見通しより増えた要因は何か。

【執行部】 総合事業には、通所介護相当サービス部分と通所型サービスAがあり、そちらにもつとシフトしていくと予想していた。だが通所型サービスAには、ほとんどシフトがなかった。町が主体的に行う通所型サービスAが伸びなかったということである。

最終的には、総合事業の減額補正になると思われる。

【委員】 この時期の補正で上がってくる額は、給付が確定してきたことによる増額補正として受け止めていいのか。

【執行部】 多少の増減はあるが、決算を見込んだ補正と考えている。

原案可決

議案第9号

浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(案)(第1号)

人事異動による人件費の増額補正。

原案可決

建設経済常任委員会付託

議案第2号

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

定数及び報酬を定める。

●主な質疑と答弁

【委員】 農業委員は、所有地の管理が困難な農家や農業地域の活性化等のために活動しているが、報酬が安

すぎるのではないか。

【執行部】 報酬については、周辺の自治体との状況から考えても安くはない。今回の改正で、活動実績及び成果実績に伴い能率給として、加算するようになっていく。

【委員】 能率給はどのように判断し加算するのか。

【執行部】 地域により差が出ると考えられるが、委員の活動時間に応じて加算するようになっていく。

【委員】 どんな業務支給が対象となるのか。

【執行部】 農地集積、遊休農地の解消に向けた活動などの報告を確認し、活動時間に応じた金額を支払う。現実的な判断については、農業委員会事務局になると思う。

有効に活用されている農地



【委員】 今回の体制変更については法律上の条件は満たしているのか。

【執行部】 条件は満たしていると考えている。

原案可決

議案第8号

農業集落排水特別会計補正予算(案) (第1号)

器具の修繕費の増額補正。



新しくなった排水器具

原案可決

発議第1号

道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書(案)

○意見書抜粋

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」により地域高規格道路や交付金事業の補助率の高上げを行い、道路整備がされているが、この措置は平成29年度までとなっている。来年度以降、補助率が低減すれば、地方創生、人口減少対

策に取り込んでいく地方に水を差すものである。香川県内各町は南海トラフ地震等の大規模災害に対する防災・減災対策など、道路に関して緊急的に対応すべき課題があり、解決に影響を与える事が懸念される。平成30年度以降も現行制度の継続を強く要望する。

提出者 川原茂行
賛成者 大西 豊
賛成者 三好勝利

原案可決



生活道を安全に

教育民生常任委員会

- 小学校図書館 ●貸出し本 ●読書通帳 ●要請訪問 ●胃がん検診



学校のオアシス 図書館を視察

※11月17日条小学校大規模改修、学校図書館(四条、仲南小学校)の現地調査を行いました

小学校図書館

格差が生まれにくいように

【委員】 学校司書の経験やセンスによって学校間で大きな格差が

生まれにくいよう情報交換や、互いに視察をすることなどが必要ではないか。

【教育次長】 学校司書間で情報交換はできているが、他の学校図書館への行き来がないため掲示物や展示方法等の情報が分からない。今後は、情報交換をしつつ空

いている時間には、互いに視察をするなど指導していきたい。

貸出し本(町立図書館)
次に利用する人のために一冊、一冊を大切に

【委員】 現在までの未返却本は何冊あるのか。また、その中に価値のある本は含まれていないか。

【社会教育課長】 貸出し

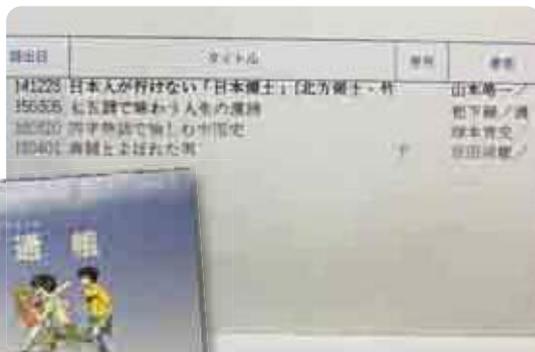
期限が一週間過ぎれば電話連絡している。現在、不明本は15冊ほどである。他の図書館に比べ圧倒的に少ない。貴重な本、余り手に入らない本については、持ち出しが禁止のため不明本の中には含まれていない。

読書通帳(町立図書館)
楽しく読書意欲を促進

【委員】 読書通帳を導入して3年目になるが、導入前と後とで貸出し冊数等に変化はあるか。

【社会教育課長】 自分が読んだ本の履歴が積み重なっていき、残ることので児童たちは喜んでいて思われる。全国的に読書離れの傾向にあるが、意欲や刺激になっ

っている。



読書通帳

要請訪問

学校運営について計画的に点検と見直しを実施

【委員】 報告の要請訪問について詳しい説明をもとめる。

【教育長】 町教育委員会の依頼により、西部教育事務所長以下2名、3名の方と町教育委員会が学校を訪問し授業や学校経営等の指導や助言等をいただくことである。

胃がん検診
十分な説明を

【委員】 胃のバリウム検査においてうまく排便出来なかった等の事例はあるのか。

【健康増進課長】 高齢者で、検査後排便の調子が悪く入院された方がいた。特に高齢の方は胃カメラでの受診を勧めた方がいいのではと考えている。胃がん検診の間診時に胃のバリウム検査について十分説明するよう伝える。

建設経済常任委員会

●土地改良事業 ●水道事業 ●地籍調査 ●新制度の農業委員 ●農地利用最適化推進

※現地調査で中山間地域所得向上支援事業「追上地区」・「東山地区」の工事現場、公共土木災害では「山脇木原線」河川災害では「桜川」・「末谷川」の視察をした。

土地改良事業

原状復旧だけでよいのか

【委員】災害復旧工事では、原状復旧が原則だが、最近の気象状況、降水量からみて、原状復旧のみで

問題ないのか。

【建設土地改良課長】国、県に確認したい。

水道事業

組織体制のしくみは

【委員】広域水道企業団の設置において、どのようなことを決めるのか。

【水道課長】企業団議会議員の選挙や報酬等を企業団で制定する。



災害復旧事業 末谷川（満濃地区）



広域となる水道事業

地籍調査

納得の調査を

【委員】地元説明会で土地の地権者数が57名であるが、実際の出席者数は約半数の28名だったが問題は無いのか。



図面上で確認中

【地籍調査課長】欠席者も含めて地権者全員に連絡を取り調整し、本人もしくは委任された方による現地立会を行っているので問題は無い。

新制度の農業委員

スムーズな移行を

【委員】議会と農業委員会とでも協議すべきである。

【農林課長】新制度であり農業委員・推進委員（農業委員を補佐する）が定数に満たないことも想定される。そこで、現農業委員や事務局員が各地区にて、新制度について十分に説明すると共に、各地区で推進に関する検討をお願いしている。

農地利用最適化推進

できる限りの有効活用を

【委員】委員の募集についてはどのように行うのか、何名募集するのか。

【農林課長】26名募集する。26名の募集は、町内を区割りした26の区域ごとに募集する。

総務常任委員会

- 投票率
- ポスター
- 公共交通
- 地方創生

投票率

若年層の投票率の向上

【委員】 若年層の投票率を上げるための対策は。

【総務課長】 40歳以下の投票率が低い。満濃中学校では、生徒会の選挙時に選挙管理委員長が向き投票のし方等の啓発を行っている。

ポスター

衆議院選挙

【委員】 ポスター掲示板が誤って1枚多く設置されたことに対する対策は。

【総務課長】 選挙管理委員会と設置業者で確認し予備掲示板は、選挙管理委員会で管理、監督する。

公共交通

高齢者の移動手段

【委員】 福祉タクシーの利用はのびているが、あいあいタクシーは伸び悩んでいる。福祉タクシーとの比較検討が必要ではないか。

【企画観光課長】 数年間の多種多様なデータ分析を行っている。

町の課題は何か、どういった方向で施策を行っていくか等、分析結果を活用していきたい。



住民の移動手段あいあいタクシー

地方創生

塩入温泉

【委員】 仲南振興公社で温泉事業が赤字になっている。琴南のエリアみかどは、利用者が増えている。PR等の努力を参考にしている。

【企画観光課長】 経営診断士の目で改革のためにどういったことが必要か、現地を見てもらったりヒヤリングを実施する予定である。



寒い冬は、温泉で心も体もポカポカ

いっしょにみんな来てつか

もっと身近な議会に！



第12回議会報告会の開催

11月28日、29日に町内4会場において開催し、34名の住民の皆さまにご参加を頂き、議会報告会(意見交換会)を開催いたしました。今回も住民の皆さまから、町財政、荒廃農地、若者定住、有害鳥獣、子育て、防災、観光等の町の課題について、ご要望、ご質問、ご意見を頂きながら活発な意見交換をさせて頂くことができました。その中からいくつかお伝えいたします。

※皆さまから頂きました貴重なご意見等は全議員で共有し、今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。また、ご要望やご意見につきまして、は、議会より執行部にもお伝えさせて頂きました。執行部からの返答も一部ですがお伝えいたします。

水道の広域化

私たちの生活には
どんな影響があるのかな

問 広域化の良い点と悪い点を教えてください。他の自治体の給水

制限は、まんのう町に影響するの。

答 水道の広域化は、将来の水道事業の安定を目指したものである。人口減少が加速していくなか町単独では、将来的には料金値上げも避けられないが、広域化により料金値上げはない計画である。また、他の自治体の給水制限もまんのう町には影響しない計画となっている。災害時においても、体制の充実強化が図られることになっている。

春日オリーブ園

工事中に大雨が降っても
大丈夫な

問 工事中の大雨などによる土砂災害の対策はあるのか。

答 当該施行地内の排水が集まる箇所には茶園の造成時の沈砂砂が流入し、堆積する事態となった場合は、排土が必要と考えている。(建設土地改良課)

空き家

復旧時の料金が
高くないかな

問 空き家となり水道を止めていた場合、復旧時の料金が高いと思う。

答 空き家の場合でも、通常の場合でもかかる費用は変わらない。水道を中止していた場合、再開栓する際には1500円必要。止水栓を開けても水が出ない場合は、使用者負担での修繕工事が必要とな



吉野公民館

若者定住

もっともっと若者が
まんのう町を選んで
くれるようにせないかん

問 住宅に関する補助だけでなく他の施策も考えていかなければいけないのではないか。

答 若者定住促進策の一環として、新築及び中古住宅修得補助を促進すると共に、子育て環境の改善や働く場所の確保としての企業誘致なども重要と考えている。(企画観光課)



吉野公民館



琴南公民館

有害鳥獣

駆除の担い手を
増やさないと

問 今は、なくても以前に狩猟免許を持っていた人も駆除ができるようにしないと担い手は増えないのではないかと。

答 担い手不足は課題である。狩猟免許を取得する場合には、かかる費用に補助制度があるがもっと周知する必要があると思う。



高篠公民館

災害備蓄品

公民館にも備蓄品を
置いてほしい

問 各、公民館にも生理用品、鍋やコンロなどの備蓄品を整備することが必要だと思っ

答 オムツや生理用品も一定量の備蓄はあるが、公民館にはいきわたっていないため順次整備していきたい。鍋などは、既存の機材の利用が可能と考えている。(総務課)

羽間駅

ボランティアを募れないかな

問 掃除をしたいと考えているが一人では無理なので行政主導でボランティアを募り実施してはどうか。

答 貴重なご意見に感謝したい。検討していく。(建設土地改良課)



仲南公民館

議会に対するご意見

議会報告会に、より多くの住民が参加できるように考えてほしい

問 今回はなぜ長炭地区での開催がないのか。開催場所をもっと多くしてはどうか。

答 議会としては大変にありがたいご意見です。長炭地区では今年5月に開催をさせて頂きましたので今回は、地区を変えて開催させて頂きました。議会報告会もどのような形で開催するのが最も良いのかまだまだ模索中です。皆さまのご意見を参考に検討させて頂きたいと思っております。

今回の議会報告会(意見交換会)にご参加いただきました住民の皆さま大変ありがとうございました。

日本一の子育て村 邑南町 産前・産後の先駆的支援 下関市

邑南町は、Uインターンによる定住者が増加していることで注目されている町です。「日本一の子育て村」を打ち出し、実現のために子育て世代の負担を和らげ、生活環境を整え安心して子育てできるよう医療、福祉、教育、生活など様々な面からの支援を行っていました。教育では、独自の「医療福祉従事者確保奨学金」制度。また2子目からの保育料の全額無料化など先駆的な取り組みもあり、積極的な施策により大きな成果をあげたことがわかりました。

下関市では、産前産後の支援の取り組みや子育てアプリについて学びました。平成27年3月に「下関市妊娠・子育てサポートセンター」が設置され、平成28年10月に産後ケア事業（宿泊型、日帰り型）が開始されるなど産前産後の取り組みが強化され手厚い支援が展開されていました。子育てアプリについては、①たぐさんの情報に埋もれてしまい子育てに関する情報が探しにくい、②市として、新しい情報からリアルタイムに発信する事が難しい。これらのことから導入を決めたそうです。若い世代はアプリの利用に慣れていません。時代に合わせた支援が必要であるとあらためて感じました。



北陸新幹線の経済効果と過疎地域の交流人口 珠洲市・立山町への視察



議会の視察は、昨年は全体で一緒に行い、今年度は常任委員会ごとに現地調査を行った。総務常任委員会は、過疎自立促進計画、商工観光振興、そして交通も所管している。今年の視察目的は、次のとおりである。

- ①北陸新幹線が石川県や富山県にもたらした経済効果を見聞する。過疎の能登半島にまでも実績は出ているのか。
- ②過疎地域の単独市町で行った現代アート展の運営体制、獲得した交流人口とその限界を見極める。
- ③町が山岳・野外活動用品会社と契約を結んだ経過、その負うべきリスクと効果、提携の効果を实地見聞する。
- ④半島に開設した能登空港が過疎地域の振興にどのような波及効果をもたらしたのか。空港に県とかの行政庁を集積した運用体制を検証する。

元来国内有数の山岳観光地の立山は、長野からの来訪を乗り越える実績が伸張している。市町単独の芸術祭はやり抜けた意義は大きいものの、負担と効果の集約はこれからであり、継続の成果に期待するとのことである。

執行部を担う所管職員3名が同行して、行程中の議員との意見交換は、極めて実質的な内容と成った。

議員名	質問内容	関連ページ
竹林 昌秀	<ul style="list-style-type: none"> ・町長の第三期目を総括すると、その成果は何か、推進途上の施策はなにか。また、未着手の課題を問う ・町長の本町財政への評価を問う。「財政健全化の五つの指標」の推移により、ご説明を求める。危険水域か。安定しているのか。 ・公益的団体への活動補助金はどのような方針と基準によるのか。 	14P
川西米希子	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療（男性、一般）、不育症助成について ・産後ケア事業、子育てホームヘルパー事業について ・期日前投票、宣誓書の取り扱いについて 	14P
大西 樹	<ul style="list-style-type: none"> ・まんのう町における森林整備の現状について ・町長としての3年8ヶ月の間の行政運営の反省及びまんのう町の未来像について 	15P
松下 一美	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策を問う ・町内商工業の発展への取組みを問う 	15P
三好 勝利	<ul style="list-style-type: none"> ・四条農改センターの改築について ・町内小自治会の再編について 	16P
三好 郁雄	<ul style="list-style-type: none"> ・シダオ堰堤内の水源地に浸食により出来た土砂をどのように考えるか 	16P
白川 正樹	<ul style="list-style-type: none"> ・満濃池一周遊歩道について ・綾子踊の活動について 	17P
川原 茂行	<ul style="list-style-type: none"> ・育樹祭の反省を踏まえて今後の課題 ・農業振興について 	17P
藤田 昌大	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を大切にす町政の推進 ・防災の住民啓発の取組み 	18P
白川 年男	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり行政について ・森林に対する町の対応 	18P
大西 豊	<ul style="list-style-type: none"> ・第41回全国育樹祭について ・資源ごみの分別収集について 	19P

まんのう町HP 議会情報 <http://www.town.manno.lg.jp/gikai/>

議員



町長・教育長

議員が町の考えを問う

12月定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。

政策評価

問 町長の政策評価を問う

答 経済がテーマとなる

竹林 町長の三期目の成果は何か。住民生活や地域社会はどう変わったのか。課題は何が残るのか。

町長 教育施設や組織体制は整った。高齢者福祉や子育て支援も相当な位置にある。農業の担い手と耕作放棄地対策、商工業や観光振興が課題である。企業誘致や住宅施策は未着手だ。

次の町の目指すところ、あり方を問う

竹林 何時まで「元気満々 まんのう町」を掲げるのか。

町長 審議委員らに検討していただいて、新たなものを掲げる。

竹林 町長の考えは無いのか。

町長 あらゆる立場から集約する。論議の軸を出して、有権者の関心喚起だ

竹林 町長が打ち出さねば、皆が発言しようが無い。論議の軸が無いと、投票率がまた下がる。どのような町を目指すのか、この構想と手立てを町長が打ち出せねばならぬ。



竹林 昌秀 議員

町長 議員各位の提案も期待する。

財政健全化の判断を問う

竹林 集本町財政を健全化指標により、町長の見解を問う。

町長 五つの指標はすべて健全である。貯めすぎは良くない

竹林 基金力は県内3位、実質公債比率も昭和30年代から最も低い。貯めすぎでは無いのか。歳入はその年の住民のために使うのが財政原則だ。投資余力を残し過ぎてはならぬ。政府資金調達に積極的に動いて、住民のために財政を最大限機能させたい。

合併特別措置の終了に備える

町長 合併特別措置が終わり、もう4年で単独市町の算定に移行する。それへの懸念がある。

有効な使途研究は職員だ

竹林 有効な使い道は、職員を減らすと、研究できぬ。

町長 定員削減は限度がある。

不妊症・不育症

問 検査、治療に公費助成を

答 国、県、近隣市町の動向を見ながら検討

川西 特定不妊治療には、国、県の助成があるが一般不妊治療にはない。また、妊娠しても流産や死産を繰り返してしまう不育症は、適切な検査と治療を行えば出産に至る可能性が大幅にあがるが検査や治療にかかる費用が高額になるため出産を諦めるケースもある。経済的負担を軽くし検査や治療を受けやすくする環境づくりは少子化対策を進めるうえでも必要だと思う。男性の不妊に関しても理解の促進が必要ではないか。

町長 県では、不育症の治療のための助成金支給も視野に独自の支援を始める方針があるようである。一般不妊、不育症治療費助成については県等の動向をみて検討していきたい。



産後ケア（宿泊型、日帰り型）

問 事業の導入を

答 受託機関を増やすことが課題

川西 産後の母親や子どもを支える



川西 米希子 議員

ため産後ケアやホームヘルパー事業の充実が必要と考える。

町長 県では、産後ケア事業を平成31年度以降に県内、全市町で取り組めるように医療機関等に働きかけているところである。町としても、産院を退院後の母親が安心して新生児の世話ができるよう支援体制を整えていきたい。

宣誓書（選挙の期日前投票時に記入）

問 自宅で記入できないか

答 町ホームページに掲載を検討

川西 期日前投票は、住民の間にも定着し利用者も増えている。より簡素化する事による有権者の負担の軽減や混雑の緩和が必要だと思う。

町長 本町では、有権者がより投票しやすい環境づくりを進めている。関係市町と協議を行いながらまずは単独で可能なホームページに掲載することで事前準備ができる対応を検討したい。

森林整備の現状について

問 補助金加算後の進捗状況は

答 一定の効果はあった

大西 平成26年度に施行された町単独補助金が一般森林整備補助金へ加算されたが、その後森林整備はどのように進んだのか？

町長 本町の補助金嵩上げ措置により、明らかに森林整備の進捗がすすんだとは言えないが、一定の効果はあった。今後の造林事業を活かしながら、積極的な森林整備に努めていく。

町長としての反省と未来像

問 今後の町政運営について

答 今後も町政運営に携わりたい

大西 町長としての3年8カ月間の町政運営の反省及び、まんのう町の未来像についてお聞きする。

町長 これまでの町政運営の成果と検証を踏まえ、今後も町民が安全で安心して暮らせ、地域に誇りと愛着を持てるまちづくりを基本に、新たな飛躍に向け、全力で取り組みたい。



大西 樹 議員



森林整備の副産物

空き家

問 積極的対策を

答 登録無料で建築士協会に相談できる体制を整えている

松下 現在、本町において、空き家の実態調査が、ゼンリンにより行われているが、700戸を超えていると思われる。中には古民家として活用できるもの等があると思う。

総務委員会研修地、石川県珠州市において平成23年から空き家改修補助、平成27年から空き家購入費補助をそれぞれ100万円でスタートさせている。本町でも空き家対策を積極的に図り、移住、定住者の増加に取り組むべきではないか。

町長 空き家と空き家に住みたい利用登録制度で平成27年より成立は8件余りである。今後建築士協会、宅建不動産業者等と協力して利用しやすいよう検討していく。

町内商工業の発展

問 取り組みを問う

答 ふるさと納税の利用を検討したい

松下 総務省によると、ふるさと納税による寄付を起業支援、移住の促



松下 一美 議員

地域振興

問 プレミアム部分を20%に

答 地域振興基金の活用を含め検討

松下 地域振興基金は現在10億9000万円余である。果実部分を商品券発行事業に活用されてはどうか。例えばプレミアム10%から20%にすることにより町内商工業の活性化が計られると思われるが。

町長 地域経済を考えた場合、プレミアムと発行総数は消費者の意向を見極め、地域振興基金の活用メニューも今後検討していく。



満濃農業環境改善センター

問 新築してはどうか

答 前向きに検討し結論を出したい



三好 勝利 議員

三好 農改センターの改築について、築後約40年経っており、大改修しても近代的な会館には程遠いものになると思う。市民の方々の要望も強いようなので、この際やり直してはどうか。

町長 農改センターは、多目的ホールその他大小の和室、会議室、フィットネスルーム等があるが、多目的な使用も多くなっている。

建築から35年以上が経過して、建築等老朽化が著しく、備品等も劣化が見受けられ、雨漏りや空調機器や電気系統も経年劣化を原因とする故障も多く、その都度修繕を行っている。

大規模改修を行うとすれば、和室、洋室の変更や部屋を細分化することは可能だ。現状に近い形になり、屋根、内装、設備等を改修すれば、費用は数億円程度かかると予想される。

しかし、財政面から考えると、大改修か、新築かの何れにしても、多額の費用がかかることから、合併特別債の最終期限に間に合うか否かも重要な決定要因であると考えている。

住民のニーズに応えられる施設として、また災害時に避難対応できる施設として、様々な意見をうかがいながら、前向きに検討し、次世代にどのようなものを残すべきか早急に結論をだしたいと考えている。

自治会

問 小自治会の再編を考えては

答 連合自治会と十分に協議を重ねていきたい

三好 地域の自治を担ってきた自治会においても少子高齢化が進んでいく。組織の存続が困難な自治会も出てくるのではないかと。小自治会の再編についてのお考えを問う。

町長 本町には、236の自治会があるが、41の自治会が10世帯以下である。組織としての機能低下、連帯感の希薄などの課題を抱えている自治会も少なくない。地域の力を結集し、組織の基盤強化を図るためには、自治会の再編は有効な方法だと思つた。

シダオ堰堤(琴南地区)

問 早急に浚渫を

答 県管理であるため県に要望していく



三好 郁雄 議員

三好 シダオ堰堤は、土砂貯めの機能と貯水機能を備えた砂防堰堤であるが、近年の集中豪雨等により上流からの土砂の流れ込みが激しくこのままでは、今後さらなる機能低下が危惧される。早急に、堆積土砂の調査や浚渫が必要ではないか。

町長 堰堤上流に土砂が堆積していることは確認できたが、堰堤付近は水が溜まっているため、どの程度の堆積量なのか確認できない状況にある。

堰堤東側の山林からも雨水、土砂などが山林と堰堤の間の町道部暗渠をへて堰堤にかなり流れ込んでいる。大雨の際には土砂、立木などで暗渠が閉塞しないよう現地確認し



ている。堰堤内の堆積土砂の確認調査などを行い県に要望していく。



柏崎文化会館「アルフォーネ」で

綾子踊の活動

問 交流に援助を

答 できる範囲で

白川 ①綾子踊の活動の一環としては「佐文綾子踊保存会」と同じ風流（ふりゆ）グループに属する新潟県「綾子舞保存振興会」と平成12年から交流している。今年は11月12日に「柏崎古典フェスティバル2017」に招待された。道具の修繕や経費など町のバックアップを。②ユネスコ無形文化遺産登録に向けての進捗状況は。

町長 ①交流に際してはできる範囲で支援をする。②「綾子踊」単体での登録は難しく、類似の文化財をグループ핑グして提案する流れとなつ



白川 正樹 議員

ている。「風流」に分類される保存会が全国的な組織の設立に向けて取り組んでいる。ユネスコ無形文化遺産登録が早期に登録されるよう準備を進めている。

満濃池一周遊歩道

問 隣接ゴルフ場の

営業停止での影響は

答 営業廃止の情報

確認出来ない

白川 ③ゴルフ場が提供していたサービスは、取りやめを含む運営の見直しを検討するらしい。前回の質問で平成33年ごろ完成予定と答弁があった。影響があるのではないかと。④アウトドア用品大手のモンベルとの関係は。

町長 ③営業の廃止については具体的な情報が確認できていない。未開通区間における遊歩道に繋がる情報収集に努める。④モンベルとは基幹となる遊歩道計画が具体化していない。今しばらく時間を頂きたい。

森林環境税

問 森林整備・人材育成

をどう考える

答 森林組合と連携し、
経営改善に取り組む



川原 茂行 議員

川原 森林環境税、税制大綱において7年後に取り入れられることになり、森林を守る財源ができることとなる。これからの森林に対する人材育成についてお聞きしたい。

町長 国・県の担い手育成関係事業と合せて、町としても森林組合における経営改善等へ取り組みたい。

川原 森林組合と連携し人材育成を進めなければいけない。森林整備に使う予算配分が多くなるよう今からでも事業展開をするべきではないか。

町長 第41回全国育樹祭が開催されたのを契機として、県も町も力を入れて森林整備に取り組んでいく。人材育成についても調査研究をしていきたい。

川原 農業の形態として、小さい規模でハウス等施設園芸に取り組み付加価値を高くするもの、もう一方は、耕作放棄地

を取り込み大規模に展開する土地利用型。この中で、機械の助成の考え方は、町独自で助成する必要があるのではないかと。 **町長** 農業機械や設備の導入、経営規模の拡大のための優良農地の確保、経営を支えるための人材確保など、様々な問題を克服する必要性がある。



森林を守るにも財源が必要

育樹祭の行事をどう活かしていくのか

問 具体的活動

答 協力をお願いする



藤田 昌大 議員

藤田 育樹祭が本町で開催されたことは名誉なことである。表彰を受けた個人・団体の活動をどう町政に活かしていくのか。

町長 多くの町民が参加し意識を深めるいい機会であった。今日的な地球温暖化防止活動・また町民の意識も高まってきている。それぞれの団体、個人に協力をお願いして自然を大切に活動を行いたい。

学校教育・公民館では

問 各小学校での活動は

答 経験をいかしつつ

藤田 各小学校でみどりの少年団を結成し、さまざまな活動に取り組んだが、一過性に終わらすことなく日常的に取り組む考えはあるのか。

教育長 児童にはお迎えの準備も含め、貴重な経験であった。里山保全が地球温暖化防止につながり自然体験学習の重要性を認識した。持続可

能な社会の実現をめざして学習を続けていきたい。

防災の住民啓発の強化

問 住民意識の高揚をはかれ

答 なお一層きめ細かく

藤田 近年の災害は、予想もつかない事案が各地で発生している。日常的な取り組みが不十分ではないか。特に台風時の風水害の対策、また、夜間対応をきめ細かくすべきではないか。

町長 町としては、ハザードマップや各自治会での出前講座等、継続的に広報や啓発を実施している。本年、十月までに、六十七カ所、三〇七〇名が参加し、自主防災活動が実施された。本年の九月十月の台風の夜間襲来を教訓に、より一層の日常的な取り組みもしてまいりたい。住民のみなさまには行動をよびかけていきますのでご理解されたい。

ひまわり行政

問 きめ細かな商品化は

答 細部にわたり人、予算を配分



白川 年男 議員

白川 ひまわり行政の先進地、北海道北竜町は30年の歴史をもち30億予算ながらその1%をひまわり関連に投入し、予算夏場はひまわり一色にお祭り等を行い今や海外にまで名をとどろかしているが。

を仰いでいる。さらに、新橋アンテナショップでもPRの予定である。耕作農家へも反当たり3〜5万円の補助金と収量によって加算もすることとしている。

森林行政について

問 森林の復活はなるか

答 「みどりのまちづくり」

に取り組み

白川 県・国の森林環境税の進捗状況は。その他農業用ハウスストーブ、新ストーブの普及を考えると。

町長 森林環境税については県は慎重に考えてゆく。環境税は2024年度から導入する方針を固めたこととです。農業用ハウスへの利用は農業者の意向を踏まえ総合的に判断する。新ストーブについては仲南、琴南地区において県の里山資源利用促進事業を活用して薪ステーションや薪割り機の導入が進められている。その他ふるさと納税の返礼品としても検討している。



ひまわりで町おこしを

町長 27年度に「まち・ひと・しごと・創生総合戦略」を策定し、地域おこし協力隊員を雇用し観光を含めた、商品開発に鋭意努力してきた。予算面でも0.5〜2.1%と費用対効果を精査しながら農家所得向上に取り組んでいる。その他百十四銀行と地方創生連携協定を締結し又料理研究家の提案もいただいている。他本町出身、川西修氏の幸食糧系列とも販売協力

第41回全国育樹祭

問 花いっぱい事業

答 残念ながら開花しなかった



大西 豊 議員

大西 第41回全国育樹祭は、昭和63年香川県満濃池森林公園で開催された第39回全国植樹祭において、天皇家后陛下がお手植えされた樹木(ひのき・くろがねもち)を、皇族殿下がお手入れされる育樹運動のシンボルの行事である。この行事を、まんのう町を全国に発信する絶好の機会と捉え、平成28年12月の議会で、同年11月13日に行われたイベント「第61回香川県植樹祭・県民育樹祭まんのう」への町の取り組み及び香川県満濃池森林公園の有効活用について質問をした際、町長の答弁は、「4つの公民館まつりが重なり調整出来なかった」であった。続いて平成29年3月の議会において、2月には育樹祭の開催日が平成29年11月19日に決定しカウンタダウンも始まり、今後町民がどのような形で参加出来るのか検討して欲しいと要望。町長の答弁は、町内で「花いっぱい事業」を行い、小学校・こども園・13施設・7つの公民館で、花をいっぱい咲かせるであった。しかし、開催後その花を配布する日に、かりんの丘公園横の残土置き場に沿道で飾った数千個のひまわりが廃棄されている。まだこれから咲くひまわりもあり廃棄する必要があったのか、本日に計画通り実施され

たのか。また、その事業にかかった費用はいくらか。

町長 第41回全国育樹祭の開催を通して、全国のお客さまに、自然豊かなまんのう町を知っていただくことも、本町の特性を活かし未来にわたって、みどりをもたらす恩恵を享受でき、町民が豊かな暮らしにつながる取組をしたい。残念ながら花いっぱい事業については、例年になく寒く日照時間が短かったことやむを得なかった。沿道に配置した花は、その後小学校、こども園、公民館などに配布、残りの花については、11月27日町民に先着2000を超える人に配布し、ひまわりを有効活用できた。

花いっぱい事業では、公共施設では、189万円、役場前では、8万円、沿道では、プランタ20000個、サルビア18000個、ヒマワリ60000個で241万円、合計費用約430万円だった。



廃棄されたひまわり



配布されたひまわり

取材の足跡

町民のみなさん、取材にご協力ありがとうございます。



出初め式



成人式



ニジマス放流



編集委員一同



冬のひまわり 育樹祭にむけ作付け



まんのう町老人クラブ仲南支部
あなたの「結婚したい」を
応援したい

熱い思いを胸に、新たな挑戦は始まった



まんのう町老人クラブが制作した「婚活チラシ」



あなたの「結婚したい」を応援したい。
あなたの登録を心から待っています。素敵な出会いがきっとあります。まずはお電話ください。
●お問い合わせ先
TEL 0877-891-2288-1
※登録された皆様の個人情報厳格に管理しています。

まんのう町老人クラブ連合会仲南支部から、地域の信頼も厚い7人の壮年が立ち上がり、まんのう町合併10周年記念事業の一環として、まんのう町の応援も受け「婚活クラブ」を設立。(平成28年7月1日)まんのう町の人口減少に歯止めをかけたい。結婚へのお手伝いがしたい。親の心配をやわらげたい。7人の皆さんの共通した思いが会を立ち上げる動機になったそうです。

人に尽くし、社会に貢献が大きな喜びに

設立から1年と6ヶ月(平成29年12月26日現在)現在までに1組の夫婦が誕生し、3組が結婚を前提に交際を続けています。一組の夫婦の誕生は、婚活クラブの大きな喜びとなり、ますますの貢献を誓う励みとなっていると語ってくれました。

現在、結婚相手を求める人の登録者数は103名(男性7割、女性3割)登録者の年齢、職業、家族構成、趣味などさまざまなデータから最もふさわしい相手を選び喫茶店など身近な場所での出会いを提供します。初めての出会いには、役員が一人付き添い仲を取り持ちますが、交際したい気持ちが芽生えれば、その後は二人にまかせてあたたかく見守っていきます。

結婚を願う人をごきょうでも応援、全力を尽くす

今年度末までの「婚活クラブ」の目標は結婚相手を求める人の登録者数150名、マッチング50組、成婚3組。まずは登録者数を増やすことが最も重要であることから婚活支援の活動を広く皆さんに知ってもらうように周知、啓蒙活動にもますます力を入れていくそうです。



今月の表紙
クリスマス会
四条こども園

「サンタさん来るかな〜?」「サンタさん見た?」取材のため訪問した私たち議員にも子どもたちから可愛い問いかけがありました。サンタさんの登場に子どもたちは目を輝かせて大喜び。子どもたちからの質問に好きな食べ物は「バナナののったケーキ」好きな歌は「ジングルベル」とサンタさんは答えていました。
(^^。^^)



あとかぎ

編集委員一同

今回の26号をもちまして、私たちの委員会での発行は最後となります。次回は改選後の新たな委員会にて発行とさせていただきます。議会だよりは、住民の皆さまと議会を結ぶものです。「議会の動きが紙面から住民の皆さまに伝わるように」との思いで編集委員一同作成に携わってまいりました。お読み頂きありがとうございます。

まだまだ

寒さの厳しい季節です。お体を大切にお過ごしください。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 川西米希子 |
| 副委員長 | 白川 皆男 |
| 委員 | 川原 茂行 |
| 委員 | 大西 豊 |
| 委員 | 白川 年男 |
| 委員 | 白川 正樹 |



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL. (73) 0109 まで